

作成日 2006年 07月18日
改訂日 2010年11月30日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 ニッタイトHL-701SS

会社名 新田ゼラチン株式会社

住所 〒581-0024 大阪府八尾市二俣2丁目22番

担当部門 接着剤事業部 開発部

電話番号 0729-48-8272 F A X 番号 0729-48-0004

整理番号 MHN-0371

2. 有害性の要約

GHS分類

【物理化学的危険性】

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体：	分類できない
自己反応性化学品：	分類対象外
自然発火性液体：	分類対象外
自然発火性固体：	分類対象外
自己発熱性化学品	分類対象外
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質：	分類できない

【健康に対する有害性】

急性毒性（経口）：	区分外
急性毒性（経皮）：	区分外
急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	分類対象外
急性毒性（吸入：粉塵）	分類対象外
急性毒性（吸入：ミスト）	分類できない
皮膚腐食性・刺激性：	分類できない
目に対する重篤な損傷・目刺激性：	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性：	分類できない
生殖細胞変異原性：	分類できない

発がん性：	分類できない
生殖毒性：	分類できない
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）：	分類できない
特定標的臓器・全身毒性（反復毒性）：	分類できない
吸引性呼吸器有害性：	分類できない

【環境に対する有害性】

水生環境有害性（急性）：	分類できない
水生環境有害性（慢性）：	分類できない

※記載のないものは「分類対象外」又は「分類できない」。

絵表示又はシンボル：

注意喚起語：

なし

危険有害性情報：

注意書き：

[予防策]

使用前に取扱い説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

- ・指定された個人用保護具（安全帽、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護手袋、保護衣、安全靴など）を着用すること。
- ・取り扱った後、手、顔などをよく洗うこと。

[対応]

加熱溶融した製品に触れないこと。

- ・ミストや蒸気の吸入を避けること。
- ・加熱溶融状態の製品が付着した場合、直ちに水で冷却した後、火傷に対する医師の手当てを受ける。
- ・飲み込んだ場合、水でよく口の中を洗浄すること。無理に吐かせず、可能であれば、指をのどに差し込んで吐き出させ、直ちに医師の処置を受ける。
- ・過度に加熱された製品の蒸気を吸入してのど等に異常がある場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動する。症状に変化が現れた場合には、直ちに医師の手当てを受ける。加熱溶融した製品に触れないこと。
- ・ミストや蒸気の吸入を避けること。
- ・加熱溶融状態の製品が付着した場合、直ちに水で冷却した後、火傷に対する医師の手当てを受ける。
- ・飲み込んだ場合、水でよく口の中を洗浄すること。無理に吐かせず、可能であれば、指をのどに差し込んで吐き出させ、直ちに医師の処置を受ける。
- ・過度に加熱された製品の蒸気を吸入してのど等に異常がある場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動する。症状に変化が現れた場合には、直ちに医師の手当てを受ける。

[保管]

- ・屋内で、直射日光を避けて、換気の良い場所に保管する。

・開封して必要量を取り出した後は、ゴミ、水などが入らないようにする。

[廃棄]

・内容物／容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。

GHS分類に該当しないほかの危険有害性

重要な徴候

特になし。

想定される非常事態の概要

特になし。

国／地域情報

なし

3. 組成成分情報

単一成分・混合品の区別： 混合物

化学名（一般名）： エチレンーメタクリル酸メチル共重合樹脂系ホットメルト
接着剤

成分及び含有率： エチレンーメタクリル酸メチル共重合物等 100%

危険有害成分：

成分名	固形パラフィン	酸化チタン	—	—
含有率 (%)	20%～30%	10%未満	—	—
CAS No.	—	13463-67-7	—	—
化学物質管理促進法	対象外	対象外	—	—
労働安全衛生法	対象化学物質 (No. 170)	対象化学物質 (No. 191)	—	—
毒物及び劇物取締法	対象外	対象外	—	—

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物：・飲み込むと有害のおそれ
・加熱溶解した製品に皮膚が接触すると火傷を起こす。

4. 応急処置

吸入した場合： 過度に加熱された製品の蒸気を吸入してのど等に異常がある場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動する。症状に変化が現れた場合には、直ちに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合： 加熱溶解状態の製品が付着した場合、直ちに水で冷却した後、火傷に対する医師の手当てを受ける。

目に入った場合： 固体製品の場合、直ちに清浄な水で15分以上洗眼したのち、症状に応じて眼科医の診察を受ける。
加熱溶解状態の製品が目に入った場合は、直ちに水で冷却し、眼科医の手当てを受ける。目をこすったり無理に開けさせてはならない。

飲み込んだ場合： 水でよく口の中を洗浄すること。無理に吐かせず、可能であれば、指をのどに差し込んで吐き出させ、直ちに医師の

- 処置を受ける。
- 最も重要な徴候及び症状： 加熱した製品が皮膚に接触した場合に火傷する。加熱溶融時に生じる蒸気は、目、鼻、のどを刺激することがある。
- 応急措置をする者の保護： 加熱された製品に触れる場合、保護眼鏡、手袋、長袖作業衣等の保護具を着用する。
- 医師に対する特別な注意事項： 特になし。

5. 火災時の処置

- 消火剤： 水（初期消火）、粉末、二酸化炭素、泡、乾燥砂。
- 使ってはならない消火剤： 大規模火災の場合、水は、使用してはいけない。
- 火災時の特定危険有害性： 燃焼または熱分解により炭素酸化物、その他の有毒ガスが発生することがある。
大規模火災の場合、溶融した製品に水散布すると、熱水又は溶融した製品が飛び散る事があるので、この場合は泡消火器を用いて空気を遮断することが有効である。
- 特定の消火方法： 付近の着火源を断ち、保護具を着用して消火する。消火後は、製品の内部が冷却するまでロープを張り人の立ち入りを禁止する。
- 消火を行なう者の保護： 消火作業の際には、保護眼鏡、保護衣、状況によっては有害ガスを吸い込まないように呼吸用保護具を着用し、風上から消火活動を行う。

6. 漏洩時の処置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置： 加熱された製品に触れる場合、保護眼鏡、手袋、長袖作業衣等の保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項： 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- 除去方法： 加熱溶融した製品が露出した場合、製品が冷却してから取り除く。溶融状態で回収する必要がある場合、保護具を着用して火傷防止の処置をとる。回収したものは紙袋またはドラム缶等に入れる。
- 二次災害の防止策： 付近の着火源となるものは速やかに除くとともに消化剤を準備する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

- 技術的対策： 専用の溶融機器及び塗付機器を使用する。溶融温度は、製品説明書に示す使用温度範囲内とする。可燃物のため、付近に着火源となるものは置かない。
- 局所排気・全体換気 蒸気を発散する取り扱い場所には、局所排気装置を設置すること。

注意事項： 容器の破損につながる粗暴な取り扱いをしない。
 安全取扱い注意事項： 溶融機器、塗付機器を扱う場合、手袋、長袖作業衣、保護眼鏡の火傷防止措置をとる。

保管

技術的対策： 屋内の倉庫に保管すること。
 適切な保管条件： 高温を避けて、室内に保管すること。
 開封して必要量取り出し後は、ゴミ、水などが入らないようにする。
 安全な容器包装材料： 特になし。
 その他：

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策： 密閉式の溶融機器を用いることが望ましい。蒸気を発散する取り扱い場所には、局所排気装置を設置すること。

管理濃度： 設定されていない。

許容濃度： 設定されていない。

保護具

呼吸器用の保護具： 保護マスク

手の保護具： 綿製保護手袋、耐熱手袋

目の保護具： 普通眼鏡、側板付き普通眼鏡、ゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び体の保護具： 長袖作業衣（綿製が望ましい）、安全靴

適切な衛生対策 作業後、手を良く洗い、うがいをしてから、飲食等をする。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状： 固体

色： 白色

臭い： 樹脂臭

pH： 該当しない

融点（軟化点・環球法） 80～110℃

沸点、初留点と沸点範囲： 知見なし、知見なし

引火点： 220

自然発火点： データなし

燃焼性： データなし

燃焼又は爆発範囲の上限下限： データなし

蒸気圧： データなし

蒸発速度： データなし

比重： 0.9 ～ 1

分解温度： データなし

溶解性： 水に不溶。

オクタノール／水分配係数： データなし
 その他のデータ： なし

1 0. 安定性及び反応性

安定性： 通常の取扱い条件においては安定。
 反応性： 250℃を越える温度では徐々に分解し、粘度低下を起こす。
 避けうるべき条件： 溶融温度は、製品説明書に示す使用不能温度以上にしないこと。
 混蝕危険物質： 可燃物のため、自然発火性物質と一緒にしないこと。
 危険有害な分解生成物： データなし
 その他： 情報無し

1 1. 有害性情報

急性毒性： データなし
 皮膚腐食性／刺激性： 知見なし
 眼にたいする重篤な損傷／刺激性： 知見なし
 呼吸器感作性／皮膚感作性： 知見なし
 生殖細胞変異原性： 知見なし
 発がん性： 知見なし
 生殖毒性： 知見なし
 特定標的臓器毒性－単回暴露： 知見なし
 特定標的臓器毒性－反復暴露： 知見なし
 吸引性呼吸器有害性： 知見なし
 その他： 知見なし

1 2. 環境影響情報

生態毒性： 知見なし
 魚毒性： 知見なし
 残留性/分解性： 知見なし
 生態蓄積性： 知見なし
 土壤中の移動性： 知見なし
 その他有害情報： 知見なし

1 3. 廃棄上の注意

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の分類では廃プラスチック類に該当する。最大15cm以下に破砕、切断もしくは溶融加工して埋立処分するか、又は焼却設備で焼却する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制：
 国連分類： 国連の定義上危険物に該当しない。

国連番号：	該当しない
品名(国連輸送品名)：	該当しない
容器等級：	該当しない
海洋汚染物質：	該当しない
特別の安全対策：	特になし。
国内規制：	消防法、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。
輸送の特定の安全対策及び条件：	容器の破損、漏れがないことを確認し、衝撃、転倒、落下、破損のないように積み下ろしを行い、荷崩れの防止を行う。また、直射日光を避けて輸送する。
応急措置指針番号：	該当なし

1 5. 適用法令

- ・ 消防法：指定可燃物 (合成樹脂類) (3000kg)

1 6. その他情報

適用タイプ

この製品安全データシートは、次のタイプに適応されます。
HL-701SS

引用文献：

その他：

製品及び記載内容の問い合わせ先：新田ゼラチン株式会社 接着剤事業部 営業部
東京営業チーム 電話番号：03-6667-8253
大阪営業チーム 電話番号：06-6563-1520

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。